



平成 20 年 10 月 31 日

各 位

会社名	株式会社ダイナシティ
代表者名	代表取締役社長 吉田 雅浩 (JASDAQ コード番号 8901)
問合せ先	執行役員 西田 耕二 総務人事部長 (TEL : 03-5733-8157 )

#### 当社民事再生手続開始の申立てに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、民事再生手続の申立てを行うことを決議し、東京地方裁判所に民事再生手続開始の申立てを行い受理され、直ちに同裁判所から保全処分命令（弁済禁止処分）と監督命令が発せられましたので、下記の通りお知らせいたします。

関係者の皆様には、多大なご迷惑をお掛けすることになり、誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。今後当社は、裁判所および監督委員による指導監督のもと、事業再建に全力を尽くしていく所存でございますので、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

##### 1. 申立ての理由

当社は、設立以来、「快適な都市型ライフスタイル」の提案をコンセプトに、従来の一般的なファミリータイプマンションとは一線を画した、「居住性」「利便性」「収益性」を特に重視した単身者およびDINKS層をメインターゲットとする都市型の高付加価値コンパクトマンションを供給してまいりました。また、①証券市場を通じての資金調達手段の多様化による財務体質の強化、②会社の知名度および社会的信用度のアップ、③経営管理体制の確立、④従業員のモラルアップおよび優秀な人材の確保、⑤市場メカニズムによる公正な株価形成などを目的に、平成 13 年 12 月には J A S D A Q 市場へ上場をいたしました。その後もコンパクトマンションのリーディングカンパニーとして、2006 年首都圏においてコンパクトマンション供給 No. 1（不動産経済研究所調べ）企業となるなど、継続的な成長を遂げてまいりました。

しかしながら、昨年来からのサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱および信用収縮により金融機関の融資体勢が慎重になるとともに、不動産市況が大幅に悪化いたしました。このような事業環境の変化は、特に当社の不動産ソリューション事業の売上および利益に大きな影響を及ぼしました。

当社は事業環境の変化に対応するため、コンパクトマンション事業へ経営資源を集中させ、また不動産ソリューション事業よりの撤退および一部開発プロジェクトの中止、人員および経費の削減など事業の再構築を実施してまいりましたが、今期に入り不動産市況の悪化はさらに進み、不動産ソリューション事業にて保有していた物件の売却も進まず、金融機関の新規融資や借換融資が急激に厳しくなったことから、資金繰りにも窮するようになりました。



当社は、新たな資金調達の方法を模索するものの、同業者の破綻が続くなど逆風の中で決済資金の調達の目途が立たず、やむを得ず民事再生手続きにより再建することを決断いたしました。

## 2. 負債総額

52,077 百万円（平成 20 年 6 月 30 日現在）

## 3. 今後の見通しについて

今後当社は、裁判所および監督委員による指導監督のもと、金融機関、取引先をはじめとする関係各位のご協力を賜りながら、スポンサーを速やかに選定のうえ、事業再建に向けて全力を尽くしていく所存でございます。

関係者の皆様におかれましては、多大なご迷惑をお掛けいたしましたことを重ねてお詫び申し上げますとともに、今後の当社再建に向けご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 4. 株券上場廃止基準第 4 条 1 項に規定する再建計画等の審査に係わる申請の有無

株券上場廃止基準第 4 条 1 項に規定する再建計画等の審査に係わる申請は行わない予定です。

（ご参考）

### 1. 申立ての概要

(1)	申立日	平成 20 年 10 月 31 日
(2)	申立裁判所	東京地方裁判所
(3)	事件番号	平成 20 年（再）第 259 号
(4)	事件名	民事再生手続開始申立事件
(5)	申立代理人	東京都港区赤坂二丁目 17 番 22 号 赤坂ツインタワー本館 6 階 末吉綜合法律事務所 弁護士 田淵 智久 同 清水 真 同 佐藤 久文 同 阿南 剛 同 後藤 高志

### 2. 会社の概況

(1)	商号	株式会社ダイナシティ
(2)	本店所在地	東京都港区虎ノ門四丁目 3 番 1 号
(3)	設立年月日	平成 6 年 9 月 14 日
(4)	代表者	吉田 雅浩
(5)	主な事業内容	不動産販売事業
(6)	資本金の額	11,497,640,966 円
(7)	株式の状況	



- 発行する株式の種類 普通株式  
 発行済株式総数 2,088,201 株
- (8) 株主の状況 (平成 20 年 9 月 30 日現在)  
 株主総数 20,433 名  
 大株主の状況 株式会社インボイス 1,048,737 株
- (9) 従業員の状況 連結 210 名 (平成 20 年 9 月 30 日現在)
- (10) 負債総額 52,077 百万円 (平成 20 年 6 月 30 日現在)
- (11) 最近の業績推移 (単位：百万円)

(連結)

	16 年 3 月期	17 年 3 月期	18 年 3 月期	19 年 3 月期	20 年 3 月期
売上高	40,034	52,816	62,683	60,326	32,906
営業利益	2,531	4,793	5,405	5,212	△795
経常利益	1,378	3,270	3,478	3,622	△2,435
当期純利益	554	1,514	△381	935	△9,245

(個別)

	16 年 3 月期	17 年 3 月期	18 年 3 月期	19 年 3 月期	20 年 3 月期
売上高	39,496	50,626	60,475	56,484	31,560
営業利益	2,590	4,754	5,815	4,749	△936
経常利益	1,439	3,234	4,084	3,322	△2,599
当期純利益	669	1,569	△306	221	△9,221

以 上